



IMV CORPORATION

2021年9月期 第2四半期決算説明会資料

2021年5月

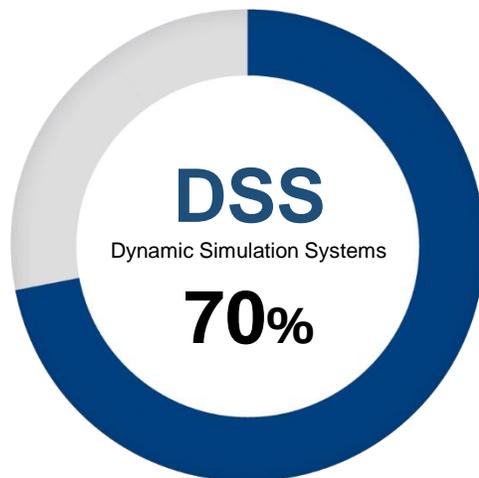
1. 会社概要

2. 2021年9月期第2四半期決算サマリー

事業セグメント | 売上構成比

Business Segment

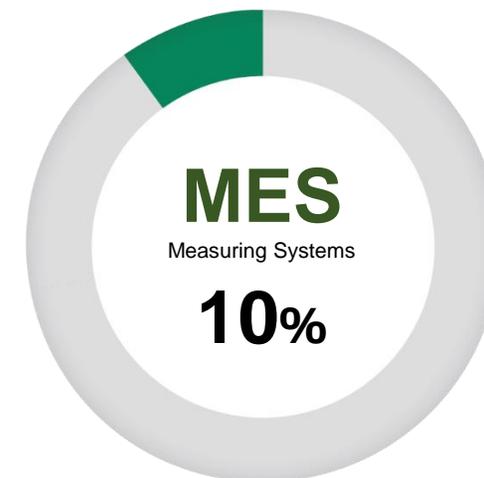
振動試験装置



テスト&ソリューションサービス



メジャリングシステム



63億4,051万円
(2021年9月上期 連結)



会社概要

Company Profile

商号	》	IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION
会社設立	》	1957年（昭和32年）4月17日
資本金	》	4億6,481万円
従業員数	》	400名（2020年9月30日現在 連結）
年間売上高	》	113億3,817万円（2020年9月期 連結）
上場証券取引所	》	東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード	》	7760
決算期	》	9月30日

国内拠点

Domestic bases

Osaka | 大阪



- ▶ 本社
- ▶ 大阪営業所
- ▶ 大阪テストラボ
- ▶ 大阪エンジニアリングサービス部

Uenohara | 上野原



- ▶ 上野原サイト
高度試験センター

Tokyo | 東京



- ▶ 東京営業所
- ▶ 東京エンジニアリングサービス部

Sagamihara | 相模原



- ▶ MESエンジニアリングサービス部
- ▶ 東京テストラボ

Nagoya | 名古屋



- ▶ 名古屋営業所
- ▶ 名古屋テストラボ
- ▶ 名古屋エンジニアリングサービス部

Kasugai | 春日井



- ▶ 春日井テストラボ

Iruma | 入間



- ▶ 日本高度信頼性評価試験センター

e-TCJ
e-Test Centre Japan

国内子会社

- ▶▶ (株)振研
八王子市
- ▶▶ 日東精機(株)
大阪市西淀川区
- ▶▶ データ・テクノ(株)
京都市下京区

海外拠点

Overseas bases

Germany | ドイツ



▶ IMV EUROPE LIMITED
German Sales Office

China | 中国



▶ IMV CORPORATION
Shanghai Representative
Office

Vietnam | ベトナム



▶ IMV TECHNO VIETNAM
CO., LTD

U.S.A. | アメリカ



▶ IMV America, Inc.

France | フランス



▶ IMV France

U.K. | イギリス



▶ IMV EUROPE LIMITED



▶ IMV EUROPE LIMITED
European Manufacturing Centre



▶ 1g dynamics

Thailand | タイ



▶ IMV (THAILAND) CO., LTD

DSS 製品ラインアップ

振動試験装置

従来機より性能が向上したAシリーズはこれまで不可能だった試験を可能にします。



低騒音小型振動試験装置

小型・低騒音でありながら本格的な試験にも対応可能です。



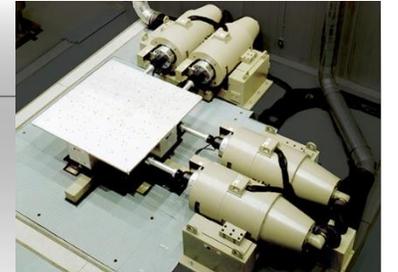
温湿度環境振動試験装置

振動試験装置とともに恒温恒湿槽も自社設計しています。



6自由度振動試験装置

現実にかかる振動環境の正確な再現が可能です。



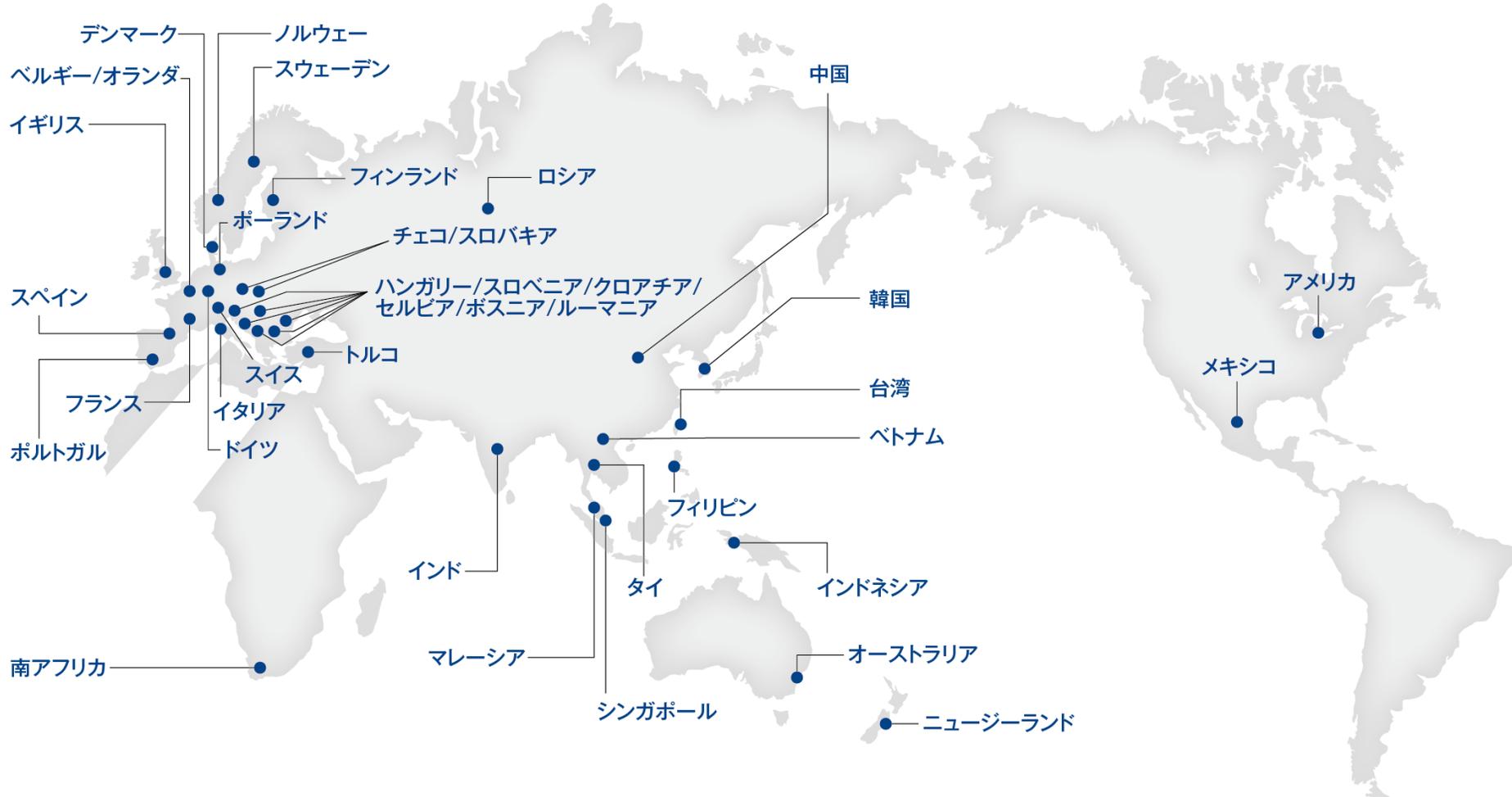
振動試験トータルシュミレーション

振動試験中の供試品の挙動を詳細に予測するシステムを導入し「計測」「シミュレーション」「治具製作」とすべてを内包した高付加価値なサービスを提供します。

AKE社小型振動試験装置

「小型なのに大加振力」な振動試験装置を製作・販売するドイツAKE社製品を日本国内で販売開始し、自動車業界への拡販を目指します。

DSS セールス&サービスネットワーク



IMVテストラボの事業紹介

大阪テストラボ



大阪市西淀川区竹島2-6-10
開設:2005年

- 振動試験 ● 電池試験

名古屋テストラボ



愛知県みよし市根浦町5-2-18
開設:2007年

- 振動試験 ● EMC試験
- 電池試験

東京テストラボ



神奈川県相模原市緑区日連870
開設:1988年

- 振動試験

Thailand



IMV(THAILAND)CO., LTD
アマタナコン工業団地
開設:2011年

- 振動試験 ● 環境試験

上野原サイト高度試験センター



山梨県上野原市ハツ沢2193-28
開設:2015年

- 振動試験 ● 電池試験

日本高度信頼性評価試験センター



埼玉県入間市宮寺4102番142
開設:2018年

- 振動試験 ● EMC試験
- 環境試験

春日井テストラボ



愛知県春日井市上条町3-24-5
開設:2019年

- 振動試験

Vietnam



IMV TECHNO VIETNAM CO., LTD
タンロン工業団地
開設:2018年

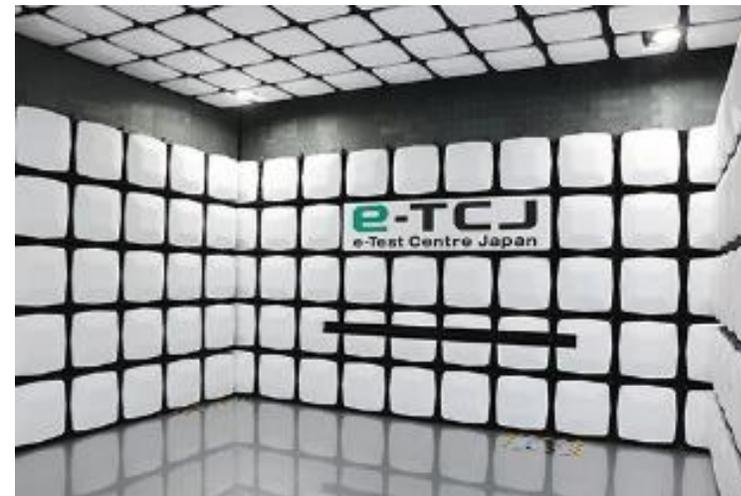
- 振動試験 ● 環境試験

TSS e-TCJにおけるEMC試験

電気・電子製品から放出される電磁波を測定し、規格で決められた範囲内に収まっているかを評価するエミッション（EMI）測定と、電磁波による誤動作の起こりやすさを評価するイミュニティ（EMS）試験の2つで構成されたEMC試験が可能。

- ≫ キャリア20年以上のスタッフが在籍（i NARTEエンジニア/i NARTEデザインエンジニア）
- ≫ 電波暗室（2室）・シールドルーム（2室）を完備
- ≫ e-TCJ ネットワークにより包括した試験が可能

	試験名	対応規格
エ ミ シ ヨ ン 試 験	放射エミッション	CISPR25 / 車両メーカー規格
	伝導エミッション(電流)	
	伝導エミッション(電圧)	
	磁界エミッション	MIL STD461 RE101 / 車両メーカー規格
イ ミュ ニ ティ 試 験	ALSE	ISO11452-2 / 車両メーカー規格
	TEM セル	ISO11452-3 / 車両メーカー規格
	BCI	ISO11452-4 / 車両メーカー規格
	ストリップライン	ISO11452-5 / 車両メーカー規格
	磁界イミュニティ	ISO11452-8 / 車両メーカー規格
	アンテナ近接	ISO11452-9 / 車両メーカー規格
	ESD	ISO10605 / 車両メーカー規格



電波暗室

TSS スクイーク&ラトル試験

振動により製品から発生する騒音（スクイーク音：きしみ音／ラトル音：カタカタ音など）を測定し、騒音レベルを確認する試験。

- ≫ 暗騒音17dB程度（NC-20以下）の静音室完備
- ≫ NR35等各社基準での測定実施可能
- ≫ 音解析ソフト・音源可視化カメラ等充実の設備



スクイーク&ラトルルーム

MES 製品ラインアップ

振動計測装置

床振動から機械装置の回転振動まで、あらゆる振動を計測します。



WiFiポータブル振動計

振動監視装置

発電所やポンプなどの機械振動を常時監視し、予防保全に活躍します。



接触式振動監視装置

地震監視装置

地震を常時監視し、発生時には設備を緊急遮断することにより二次災害の防止に貢献します。



地震監視装置

超小型ピックアップ

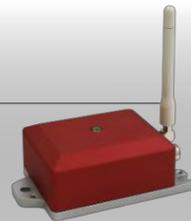
安価なMEMS素子でも10kHzまで正確に測れる超小型ピックアップをはじめ、多様なラインナップを取り揃えています。



超小型ピックアップ

構造ヘルスマニタリングシステム

ビルや橋梁といった構造物の多点に設置し、地震時および定期的に加速度波形を収集し速報や健全性を評価します。



ワイヤレスタイプ長周期モニタリングシステム

IoT関連製品

機械の状態監視と地震時の緊急対応両方でIoTでの活用を想定した製品を取り揃えております。



ラムダパイプロ

MES 防災ビジネス活動

地震計技術の世界展開

MES事業部門では、JBP（日本防災プラットフォーム）を通じて、防災分野における海外への協力を進めています。IMVの長年培った地震計の技術を世界に展開するとともに、防災に関する知見や課題の共有を行いながら、今後に向けての取組を行っています。



地震監視装置
TM-0013-SW & SW-52ST



日本防災プラットフォーム HPより（2019年3月26日）
<https://www.bosai-jp.org/ja/news/detail/185>

アジェンダ

Agenda

1. 会社概要

2. 2021年9月中間期決算サマリー

キーメッセージ

Key Message

21/9上期業績（連結）

- ≫ 売上高 : **63.4億円**（前年同期比100.1%）
- ≫ 経常利益 : **11.2億円**（前年同期比226.3%）
- ≫ 21/9期業績目標 : 売上高 **123.0億円**（前期比108.5%）
経常利益 **10.0億円**（前期比216.5%）

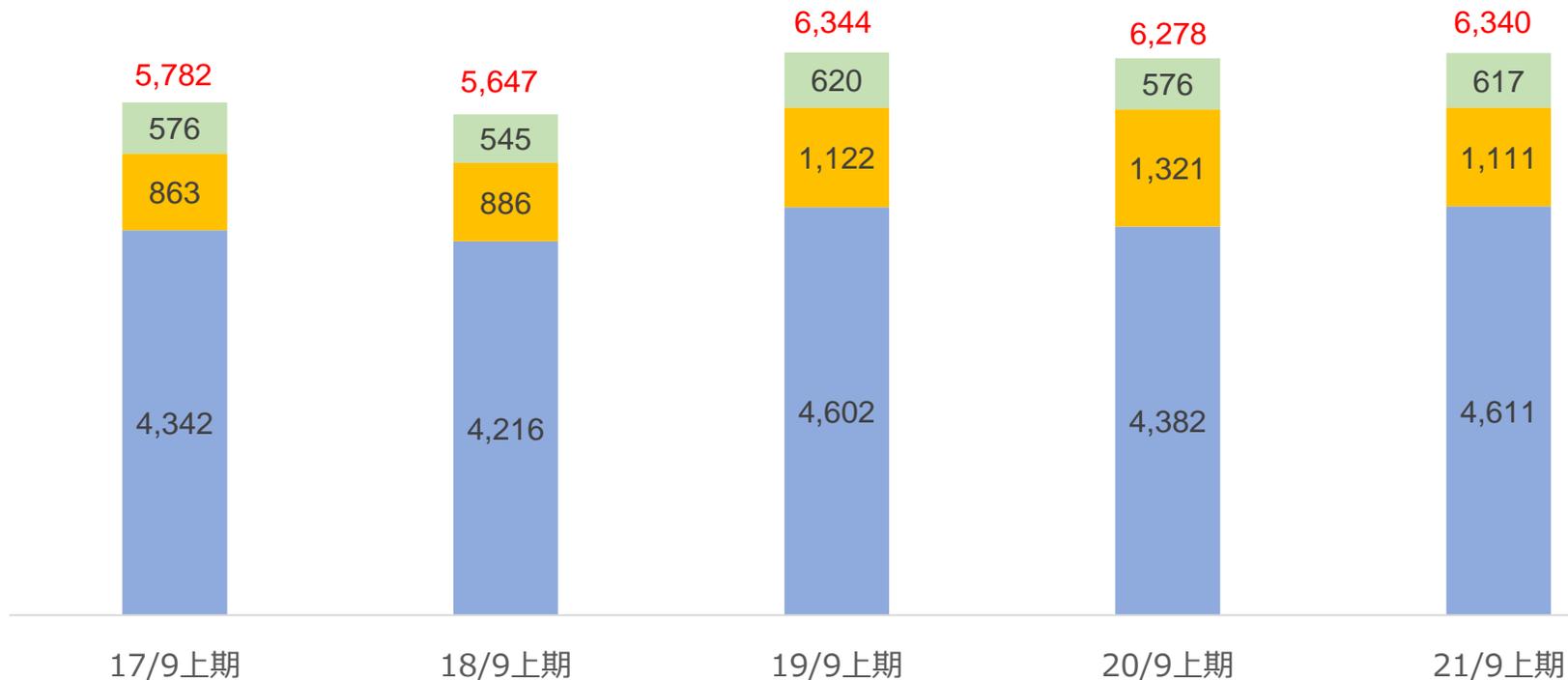
グループ運営方針

単なるモノ売りビジネスからの脱却

～「シミュレーション」「クラウド」「サブスクリプション」をキーワードに、
お客様の潜在的なリクエストや不満に対応

事業別 売上高推移

■ DSS ■ TSS ■ MES 赤字は合計額 (単位：百万円)



DSS

国内市場は大型案件が好調に推移しました。一方、海外市場は米国向けの売上が低迷しました。

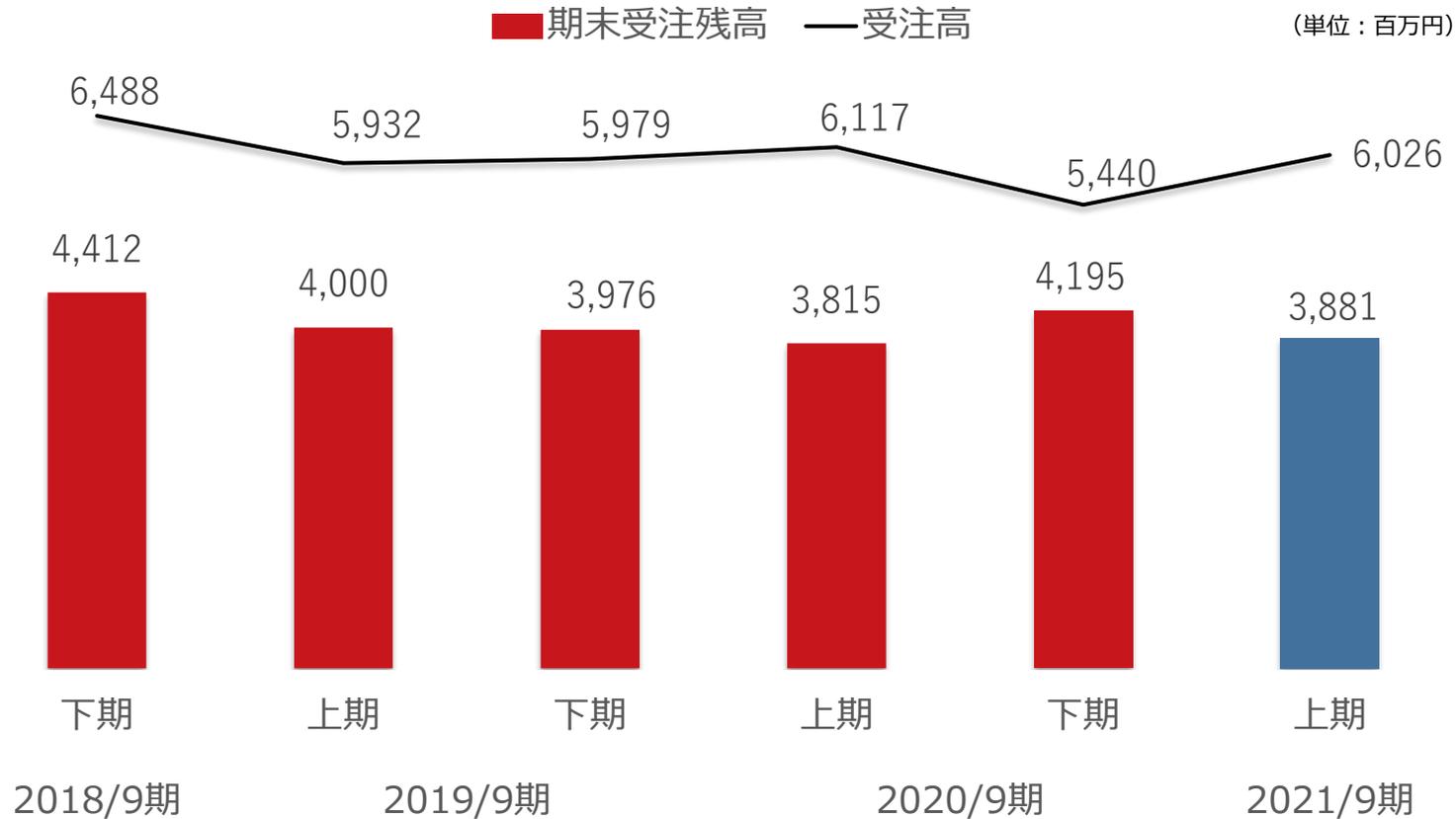
TSS

COVID-19の影響を受け、受託試験の延期や一時的な稼働低下により低調な推移となりました。

MES

監視計の製品販売や回路基板評価の受託試験が好調に推移し、全体でも前年同期を上回る結果となりました。

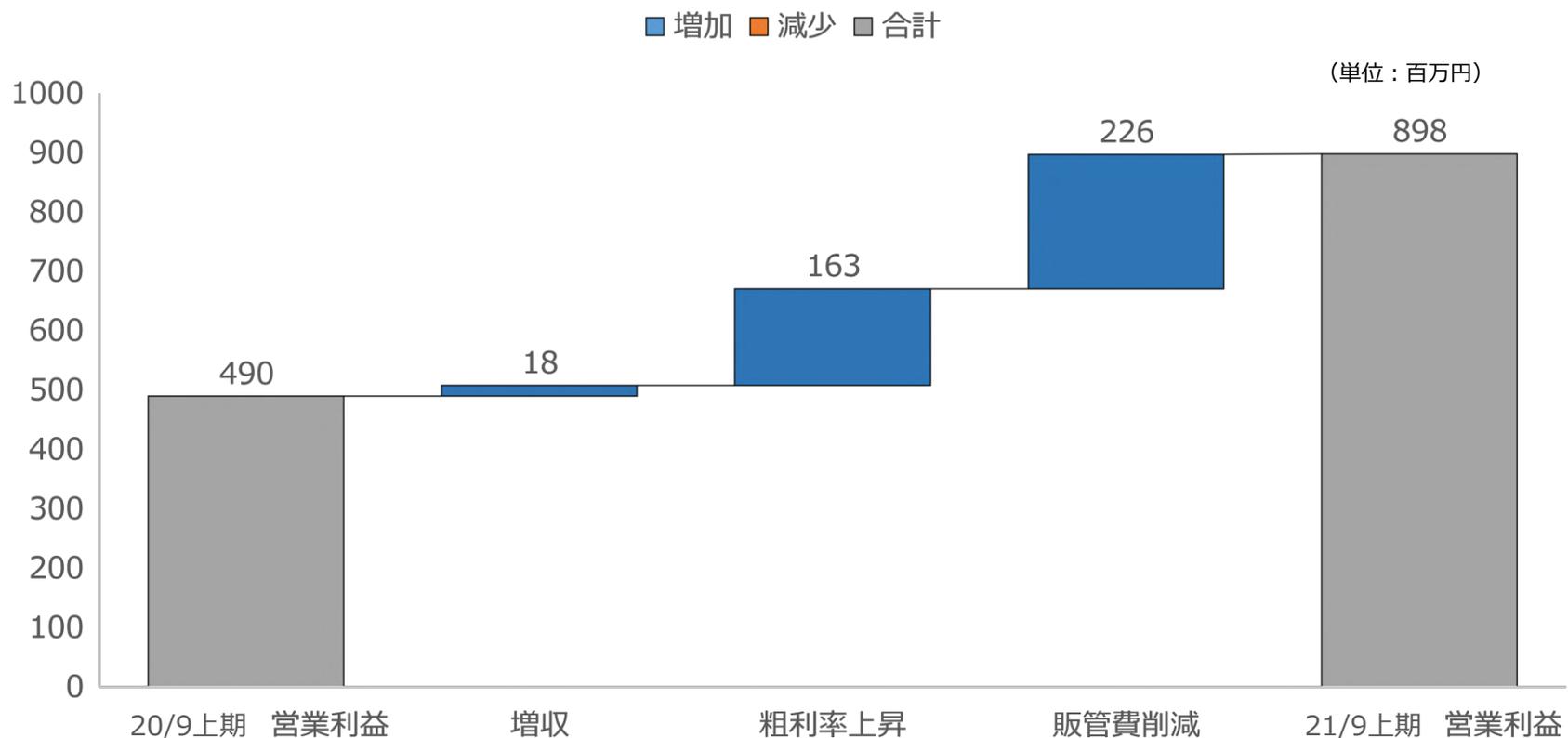
受注の状況



》 受注高は前年下期より増加しておりますが、前年上期と比較するとTSS事業の低迷により、下回っております。

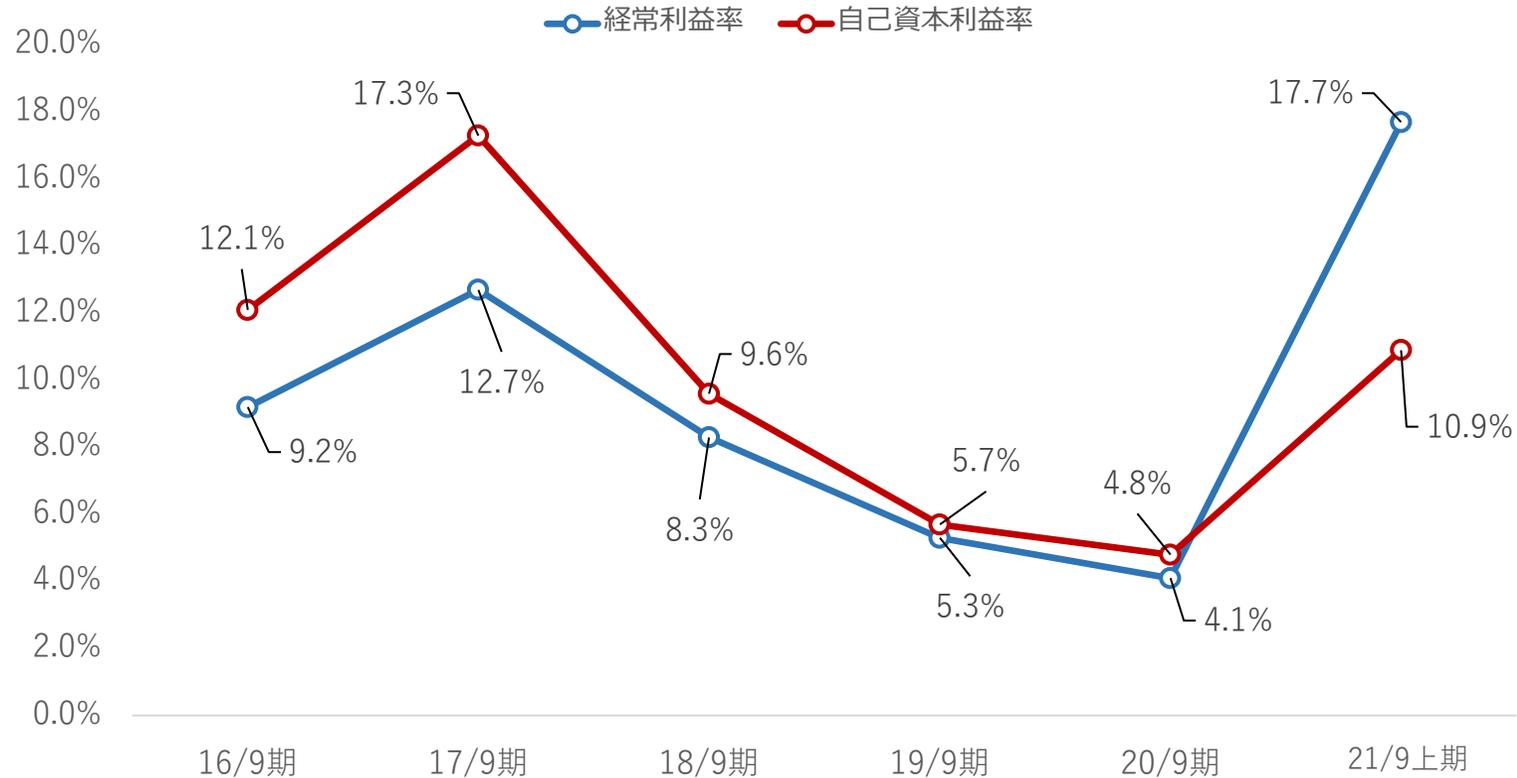
》 また、受注残高はDSS事業で大型案件を売り上げたこと等から、前期末から減少しております。

営業利益増減要因



➤ 売上高の増加、部材発注先の見直し等による材料費率の改善に伴う粗利率の上昇、広告宣伝費、旅費交通費などの経費削減の結果、営業利益は前年同期と比較して大幅に増加しました。

経常利益率及び自己資本利益率（ROE）の状況



》 18/9期以降、国内施設及び海外子会社向け積極投資に伴う固定費の増加が先行した結果、利益率は低下傾向にありました。

》 21/9上期は先行投資がひと段落し、売上高の増加や諸経費の削減などの結果、利益率が改善いたしました。

決算概要（連結） 1

（単位：百万円）

	20/9 上期	21/9 上期	前年同期比	コメント
売上高	6,278	6,340	62	<p>● COVID-19によりTSS事業での受託試験の遅延や一部海外事業への影響がありましたが、DSS事業、MES事業が伸長した結果、売上高は前年同期比で増加いたしました。</p> <p>● 売上高の増加に加えて、部材の発注先として海外調達も含めた見直しを行い材料費率が改善したことや諸経費の削減効果の結果、利益も前年同期比で増加いたしました。</p>
営業利益	490	898	408	
経常利益	497	1,125	628	
四半期純利益（親会社株主帰属）	328	799	471	
1株当たり四半期純利益	20.2	47.1	26.9	
売上高経常利益率	7.8%	14.2%	6.4%	

決算概要（連結） 2

（単位：百万円）

	20/9 上期	21/9 上期	前年同期比	コメント
営業キャッシュ・フロー	156	728	572	●四半期純利益の増加等の影響による営業キャッシュ・フロー増加によりフリー・キャッシュ・フローは増加しており、現金を潤沢に保有しております。
フリー・キャッシュ・フロー	-249	680	929	
現金及び現金同等物残高	2,605	3,138	533	
自己資本残高	6,705	7,360	655	●財務安定性は依然として安定水域にあります。
自己資本比率	38.7%	42.7%	4.0%	
自己資本利益率	4.9%	10.9%	6.0%	

決算概要（連結） 3

(単位：百万円)

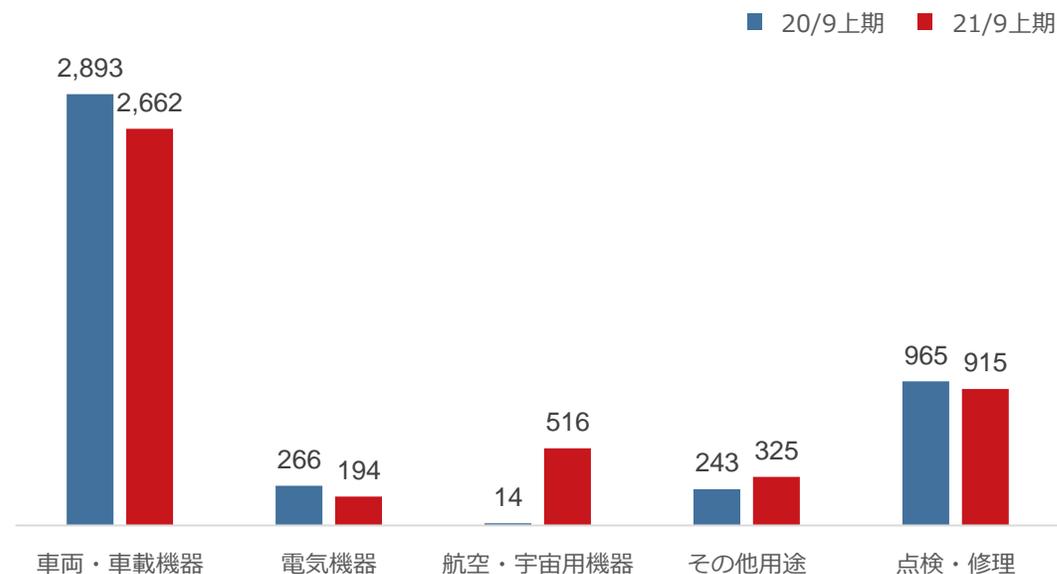
	20/9 上期	21/9 上期	前年同期比	コメント
設備投資額	415	48	-367	●先行投資がひと段落した結果、設備投資額、研究開発費が大きく減少しました。
減価償却費	331	285	-46	
研究開発費	266	156	-110	
期末株価（円）	347	502	288	●獲得した利益を安定的に株主に還元すると共に、機関投資家及び株主との対話を通じてIR活動の充実を行います。
期末時価総額	5,884	8,512	4,884	

DSS の概況 (顧客業種別分析)

(単位：百万円)

	20/9 上期	21/9 上期	前年同期比
車両・車載機器	2,893	2,662	-230
電気機器	266	194	-72
航空・宇宙用機器	14	516	502
その他用途	243	325	82
点検・修理	965	915	-50
合計	4,380	4,611	231

- 車両・車載機器：国内市場は好調でしたが、海外市場が低迷しました。
- 航空・宇宙用機器：大型案件の計上があり、大きく伸びました。
- 点検・修理：客先での点検作業で延期などが発生しましたが、機器更新売上などにより前年同期並みとなりました。

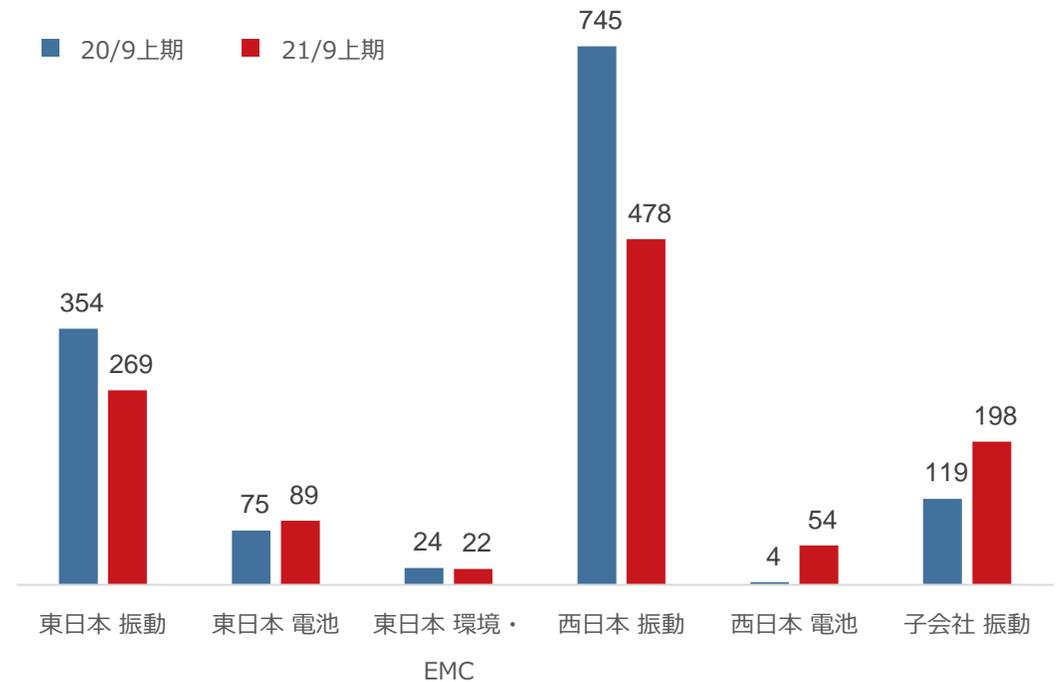


TSS の概況（エリア別・試験種類別分析）

（単位：百万円）

	20/9 上期	21/9 上期	前年同期比
東日本 振動	354	269	-85
東日本 電池	75	89	14
東日本 環境・EMC	24	22	-1
西日本 振動	745	478	-267
西日本 電池	4	54	51
子会社 振動	119	198	79
合計	1,321	1,111	-210

- 東日本振動・西日本振動：COVID-19の影響により試験延期・中止が発生しました。
- 東日本電池・西日本電池：EV向けなど比較的堅調に推移しています。
- 子会社振動：ASEANラボにおける試験が伸長しました。

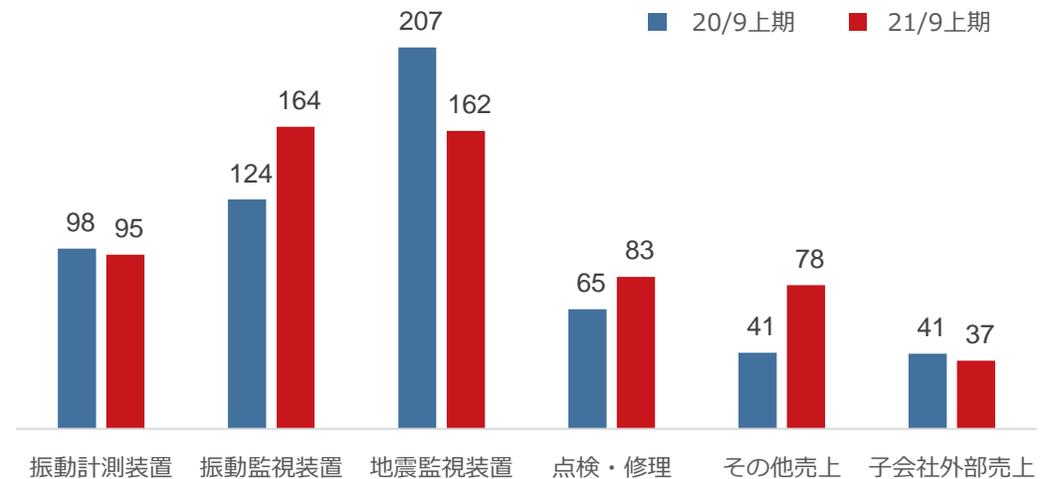


MES の概況（製品種類別分析）

（単位：百万円）

	20/9 上期	21/9 上期	前年度比
振動計測装置	98	95	-3
振動監視装置	124	164	39
地震監視装置	207	162	-45
点検・修理	65	83	18
その他売上	41	78	37
子会社外部売上	41	37	-4
合計	576	617	42

- 振動監視装置：国内市場での製品販売が好調に推移しました。
- 地震監視装置：ASEAN地域を中心に海外市場は好調でしたが、国内市場が伸び悩みました。



業績の見通し（連結）

（単位：百万円）

	20/9期実績	21/9期予想	前年度比	コメント
売上高	11,338	12,300	962	<ul style="list-style-type: none"> ● 21/9上期は前年同期から増収、増益となり、年度の予算計画に対しても順調に進捗しております。 ● しかしながら、COVID-19による世界経済の不透明性は継続していることから、年度の見通しは売上高、利益ともに当初の計画に据え置いております。 ● 引き続き、年度の予算計画達成に向けて取り組んでまいります。
営業利益	337	990	653	
経常利益	462	1,000	538	
当期純利益（親会社株主帰属）	316	650	334	
売上高営業利益率	3.0%	8.0%	5.0%	
1株当たり当期純利益	19.5	40.0	20.5	
1株当たり配当金（円）	8.5	8.5	-	
設備投資額	519	280	-239	
減価償却費	696	598	-98	
研究開発費	463	633	170	



ありがとうございました

代表取締役社長 小嶋 淳平

■お問い合わせ先

IR窓口：経営企画部長 竹本清志

TEL：06-6478-2565 / 06-6478-2562（個人株主さま） FAX：06-6478-2567

E-MAIL：imvir@imv.co.jp WEB：http://www.imv.co.jp

○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IMVグループのSDGsの取り組み

Our SDGs initiatives

IMVグループは、国連が提唱する「持続可能な開発目標」に賛同し、スローガン“SECURE THE FUTURE”の下、製品の安全性・信頼性の担保を通じ、持続可能な社会実現に向けてSDGsの達成に貢献いたします。

》 社会の安全への貢献



工業製品の安全性・信頼性評価に貢献

》 パートナーシップ



様々な業界の企業やステークホルダーと交流し協力しながら活動

》 地球環境の保全



電力消費量及びCO2排出量を抑える独自の省エネ技術を採用した装置を開発

》 働きがいのある環境づくり



長時間労働や職場環境の改善等の働き方改革の取り組み

SECURE THE FUTURE



～未来の**安全**・**安心**のために～

Future

安全を見つめて未来の社会に貢献します。

Integrity

誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。

Reliability

製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。

Strength

振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。

Technology

顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。



FIRST choice
for our Partners